

インスリンポンプ 持続グルコース測定器を ご使用の受診者様へ

当会では日本糖尿病協会およびメーカーの指導に基づき、以下の通り対応させていただきます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

**インスリンポンプ・持続グルコース測定器(リブレ等)は
検査前に取り外しをお願いいたします。
装着したまま下記検査はできません。**

胸部X線

胃部X線

マンモグラフィ

CT検査

骨密度検査
(DXA法)

MRI検査

放射線(電磁波)などの影響を受け、何らかの誤作動や故障の原因になることが報告されているため。(掲載元：公益社団法人日本糖尿病協会)

検査時の注意事項

- ・ 機器を取り外していただければ検査可能です。
健診受診のために機器を外しても良いか、**事前に主治医にご確認ください。**
- ・ 当会スタッフによる機器の取り外しは行っておりません。
- ・ 機器の交換時期とあわせてのご受診をおすすめします。



北九州病院グループ 一般財団法人 西日本産業衛生会

北九州健診診療所
北九州市小倉北区室町3丁目1-2
TEL 093 (561) 0030

八幡健診プラザ(北九州産業衛生診療所)
北九州市八幡東区東田1丁目4-8
TEL 093 (671) 8100

福岡健診診療所
福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル6階
TEL 092 (471) 1165

大分労働衛生管理センター
大分市高城南町11-7
TEL 097 (552) 7788

インスリンポンプ・持続グルコース測定器は 磁気の影響を受ける可能性があります。 検査前に必ず取り外しをお願いいたします。

インスリンポンプ

ミニメド620G/640G
インスリンポンプ
日本メドトロニック(株)



パラダイムインスリンポンプ
712/722
日本メドトロニック(株)



メディセーフウィズ
テルモ(株)



TOP-8200
(株)トッパ



持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

ミニメド620G/640Gトランスミッタ
ガーディアンコネクト
iPro2
日本メドトロニック(株)



Dexcom G4 PLUTINUMシステム
テルモ(株)



FreeStyle リブレンサース
FreeStyle リブレ Pro センサー
アボットジャパン(同)



取り外しが必要なもの

療法	製品名	装着・携帯しているもの	X 線	CT	MRI
インスリンポンプ	ミニメド620G/640G インスリンポンプ パラダイムインスリンポンプ712/722	注入セット	必要なし	必要なし	必要なし
		ポンプ本体	必要	必要	必要
	メディセーフウィズ	注入セット(パッチ)	必要	必要	必要
		ポンプ	必要	必要	必要
	TOP-8200	注入セット	必要なし	必要なし	必要
		ポンプ本体	必要	必要	必要
CGM/FGM	ミニメド620G/640G トランスミッタ ガーディアンコネクト iPro2	トランスミッタ・レコーダー	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	Dexcom G4 PLUTINUMシステム	トランスミッタ	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	FreeStyle リブレンサース FreeStyle リブレ Pro センサー	センサー	必要	必要	必要

各製品の使用方法については各社コールセンターまでお問い合わせください。

日本メドトロニック株式会社 日本メドトロニック24時間サポートライン TEL: 0120-56-32-56 受付時間24時間365日

テルモ株式会社 テルモ・コールセンター TEL: 0120-76-8150 CGM・血糖測定システム等 24時間365日受付
TEL: 0120-84-1214 インスリンポンプ専用 24時間365日受付

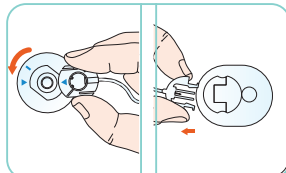
株式会社トッパ TEL: 03-3882-7741 月曜～金曜8:30～17:30(祝日・会社休日を除く)
※お問い合わせは医療従事者の方に限らせていただきます。

アボットジャパン合同会社 お客様相談窓口: 0120-37-8055 受付時間: 【月曜～金曜】8:00-20:00、【祝日】8:00-17:00
お客様相談窓口メールアドレス(常時受付): adc-cs.jp@abbott.com

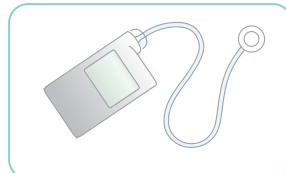
取り外し方法

インスリンポンプ

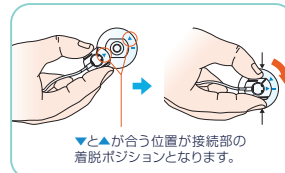
ミニメド620G/
640Gインスリンポンプ
パラダイムインスリンポンプ712/722



① 注入セットからチューブを取り外します。



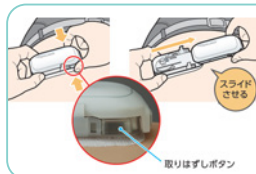
② ポンプとチューブを体から取り外し、清潔な場所に保管します。



③ 検査後、再びチューブを取り付けます。

▼と▲が合う位置が接続部の着脱ポジションとなります。

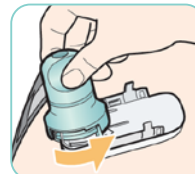
メディセーフウィズ



① ポンプをパッチから取り外した後、パッチを体からはがします。

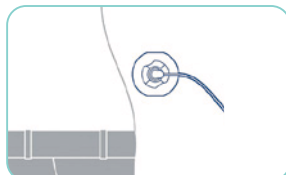


② ポンプを清潔な場所に保管します。

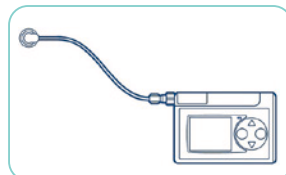


③ 検査後、新しいパッチを取り付けます。

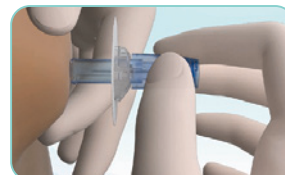
TOP-8200



① 注入セットからチューブを取り外します。



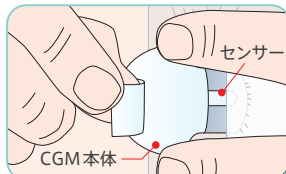
② ポンプを体から取り外し、保管します。



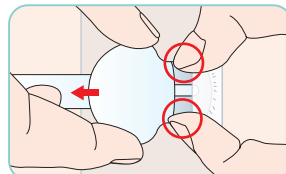
③ 検査後、新しい注入セットを取り付けます。

持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

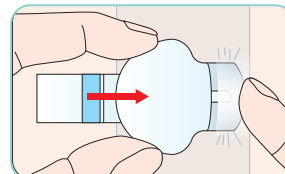
ミニメド620G/640Gトランスミッタ
ガーディアンコネク、
iPro2



① 粘着タブをCGM本体から慎重に外します。



② センサーからCGM本体を取り外した後、センサーをそっとはがします。



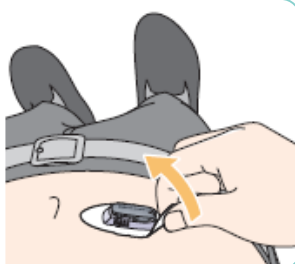
③ 検査後、新しいセンサーを装着し、CGM本体をセンサーに取り付けます。

Dexcom G4 PLUTINUM
システム



粘着パッドを皮膚からはがします。

[注意]
センサーが皮膚に付いている状態でトランスミッターをセンサーから外さないこと。



FreeStyle リブレセンサー
FreeStyle リブレ Pro センサー

[注意]
※ センサーには装着期間中の測定データが保存されています。取り外したセンサーの取り扱いについては、かかりつけの医療機関にご相談ください。
※ 新しいセンサーの装着についてもかかりつけの医療機関にご相談ください。

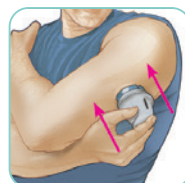


FreeStyle リブレセンサー

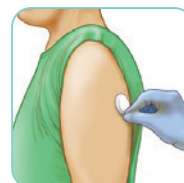
FreeStyle リブレ Pro センサー



① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。



② 検査後、新しいセンサーを装着し、起動します。



センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。